



ザンビアの経済概況・月報(2016年11月)

主なマクロ経済指標	2015年	2016年
1. 人口 (百万人)	16.21(2015)	-
2. 人口増加率 (%)	3.15 (2014)	-
3. 失業率 (%)	7.4(2014)	-
4. 平均寿命 (年齢)	50.5(男性)/53.8(女性)	-
5. GDP (百万米ドル)*1	26,963(2014)	-
6. GDP成長率 (%)	3.6(est)	3.8(proj)
7. 一人当たりGNI (米ドル)	1,710(2014)	-
8. インフレ率 (%)	10.1	8.8(Nov)
9. 消費者物価指数 (2009年=100)	155.82	188.00(Nov)
10. 貿易収支 (百万米ドル)	-717.00	-758.11*2
11. 対日貿易収支 (百万米ドル)	-26.90*4	-18.04*3
12. 輸出 (総額, 百万米ドル)	6,997.00	5323.28*2
13. 対日輸出 (百万米ドル)	46.34*4	18.90*3
14. 輸入 (総額, 百万米ドル)	7,714.00	6081.39*2
15. 対日輸入 (百万米ドル)	73.24*4	36.94*3
16. 経常収支 (百万米ドル)	-360 (2014)	-
17. 対外直接投資 (百万米ドル)	-213 (2014)	-
18. 対内直接投資 (百万米ドル)	2,484(2014)	-
19. 金・外貨準備高 (百万米ドル)	2,968	2,372(proj)
20. 対外債務残高 (百万米ドル)	7,373(2014)	-
21. 為替レート (対米ドル)	10.98ZMW(end-period)	9.82ZMW(Nov)
22. 主要政策金利 (現行, 年利%)	13.0	15.50 (May)

※() 内の年月は、その年あるいは月の確定値／予測値。 ※小数点第3位以下四捨五入

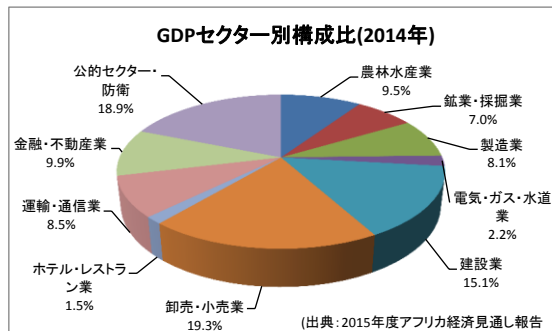
*1	GDP at market prices (Current USD)
*2	2016年1月から10月までの累計額。1USD=10.41ZMW (2016年10月までのザンビア中央銀行が替相場月間平均)を用いて換算
*3	2016年1月から10月までの累計額。1USD=112円 (2016年10月までの日銀基準外国為替相場月間平均)を用いて換算
<2016年10月>	
主要輸出品目: 銅／携帯回線用及びその他の無線回線用電話／コバルト／金(半製品)／その他製造タパコ	
主要貿易相手国(輸出): スイス 41.5%, 中国 17.0%, アラブ首長国連邦 6.8%, 南アフリカ 6.6%, コンゴ(民) 6.2%, その他 22.0%	
主要輸入品目: 銅／原油／コバルト／軽油／携帯回線用及びその他の無線回線用電話	
主要貿易相手国(輸入): 南アフリカ 30.6%, コンゴ(民) 13.6%, クウェート 8.3%, 中国 6.1%, アラブ首長国連邦 3.7%, その他 37.6%	
*4	1USD=121円 (2015年(平均値)の日銀基準外国為替相場)を用いて換算
<出典> 1. 2, 5-7, 8(2015), 20(2015): World Bank; 3: Zambia Labour Force Survey Report, 2014 (CSO & Ministry of Labour and Social Security); 4, 16: The World Factbook (CIA); 8(2016), 9, 10(2016), 12(2016), 14(2016): Monthly Bulletin (CSO); 10(2015), 12(2015), 14(2015), 19, 21(2015): Country Report 2016 (EIU); 11, 13, 15: 日本国財務省貿易統計; 17, 18: UNCTAD; 21(2016), 22: Bank of Zambia	

<ザンビアの税制度～鉱業関連～>

(出典: ザンビア歳入庁(ZRA), ザンビア採掘産業透明性イニシアティブ(ZEITI))

- 法人税(Corporate/ Company Tax):** 35%。
ルサカ証券取引所に上場している企業は30%。
- 付加価値税(VAT):** 16%。
- 探掘権料(Mineral Royalty):**
4-6%(ロンドン金属取引所(LME)の銅価格に応じて変動)。
- 関税及び消費税(Customs & Excise Duty):**
関税は商品(コモディティ)毎により、0-25%と異なる。鉱業の資本設備に関しては免税(ゼロ関税)。鉱石のまま輸出する場合には15%課税される。
- 源泉徴収税(Withholding Tax):** 15%。

※鉱業権を有する者は、探掘や鉱業関連の活動に必要なとされる全ての機材に係る関税、消費税、及びVATを免除される。



主要な経済ニュース(11月)

1. “FQM, カンサンシ鉱山に12億米ドルを投資” (Times, 1日)

ファースト・カンタム (FQM)社は、政策環境の改善、及び、政策上の課題克服を条件に、カンサンシ鉱山のアップグレードに向けて12億米ドルを投資する意図がある旨明らかにした。ムタティ財務大臣は、ザンビアにおけるFQM社の投資が確約されていること、及びザンビア政府が、同社による投資を阻んでいる課題の克服に向けて尽力している旨発言した。

2. “ザンビア政府、23億米ドルの鉄道建設契約を締結” (Times, 3日)

2日、ザンビア政府は、チパターセレンジェ間(ペタウケを途中経由)の全長388.8キロメートルの鉄道建設にかかる総額23億米ドルの契約を中国鉄建(CRCC)と締結した。ムシンバ通信運輸大臣は、同プロジェクトによってナカラ港を経由するアフリカ東海岸への代替的な交易ルートが開かれ、域内貿易及び運輸セクターの競争力が向上する旨発言した。

3. “ザンビア政府、総額5,500万米ドルのカシューナッツプロジェクトを開始” (Daily Mail, 6日)

5日、シリラヤ農業大臣は、西部州におけるカシューナッツインフラ開発プロジェクト(CIDP: 総額5,540万米ドル)開始式に出席し、関係者に対して、資金を適切な目的へと用いるよう呼びかけた。同大臣は、同プログラムが西部州10郡の6万世帯を裨益対象としており、実施期間が3-4年間である旨発言した。同プロジェクトは、アフリカ開発銀行が4,500万米ドルを融資し、残る約1,000万米ドルをザンビア政府が資金調達する。

4. “ザンビア、債務救済を得る” (Daily Nation, 8th)

ブラジルとザンビア間の総額9,070万米ドルの債務救済にかかる署名に向けた準備が進行中である。モラレス駐ザンビア・ブラジル大使は、ブラジル上院議会が、ザンビアが同国から借り入れている総額1億1,340万米ドルの未払債務のうち、二国間協定を通じて、80%(9,070万米ドル)を帳消しとし、ザンビアが残る20%の未払債務を返済すべきであると承認した旨発言した。ムタティ財務大臣は、9,070万米ドルの債務救済について、2国間の社会経済関係の新たな始まりの表れであり、ザンビアの経済回復プログラムに大いに資する旨発言した。

5. “ムタティ財務大臣、645億クワチャの2017年予算案を発表” (Daily Mail, 12日)

11日、ムタティ財務大臣は、経済回復プログラムの目標達成を目的として、総額645億クワチャ(ザンビアのGDPの27.7%)の2017年予算案を発表した。なお、2017年予算総額は、2016年比114億クワチャ増加となった。予算総額の内訳は、429億クワチャが国内歳入、22億クワチャがドナーによるプロジェクト無償資金、193億クワチャが国内外からの借入となっている。

6. “ザンビア、航空セクター支援向けの600万ユーロを提供” (Times, 23日)

ザンビア政府及びEUは、ザンビアの航空セクター支援を目的とする総額560万ユーロの無償資金協力に署名した。同支援は航空セクター支援プログラム2(ASSPII)のもとが無償資金であり、ASSPIIは、国際民間航空機関(ICAO)の運営要件を満たすべく、ザンビア航空セクターの組織・規制枠組みの改善を目指す。

7. “ザンビア政府、ZAMTELの運営に6億米ドルを投入” (Times, 24日)

ムシンバ通信運輸大臣は、ザンビア政府が、ザンビア電話公社(ZAMTEL)に対し、ネットワークの最新化及び通信エリアの拡大を目的として約6億米ドルを投入する旨発言した。また、同大臣は、中国輸出入銀行が提出した融資にかかる書類が最終決定されたのちに、ネットワークの最新化及びその拡大に向けたプロジェクトが2017年第1四半期に開始される旨発言した。同大臣は、プロジェクト関連の調達が進捗しており、プロジェクトが2021年以内に完了する見込みである旨発言した。

8. “豪企業、金及び銅の探掘を開始予定” (Times, 24日)

オーストラリア企業であるLuiri Hills Gold社(「L」社)は、2017年第1四半期中に、中央州ムンブワ郡における金及び銅の探掘を開始する見込みである。チャンダ鉱山鉱物開発省次官は、同地域の電力不足及び「L」社による資本調達上の課題によって同プロジェクトに遅れが生じていると述べたうえで、探掘予定地域への電力供給のため、送電線が現在敷設されている旨発言した。